



きらりアート展 2017 受賞作品
展示会の様子

ポラさんぽ...



企業が障がい者の生きがいづくりを応援

～ネットヨタ福井による「きらりアート展 2018」受賞作品の展示会～

ネットヨタ福井（株）では、地域への社会貢献活動の一つとして、「きらりアート展」受賞作品を預かり、1月～2月の間、福井市内で展示会を開いています。

2010年より開催されている「きらりアート展」も回を重ねる中、嶺北地方の出展者が増え、作品展を見たくても嶺南まではなかなか行けない...との声を聞き、2014年から、主に嶺北地方の方々に作品を鑑賞していただけるよう、自社の福祉車両の展示会等のイベントや店舗のショールームで行っています。

同社の加藤さんは「福井県内の障がい者の芸術才能にふれることができるので、より多くの方に見ていただきたい！お店に入るのは、少し敷居が高いと思われる方もいるかもしれませんが、遠慮なくご来場ください」とおっしゃっていました。

独創性がきらりと光るアートに出会うため、出かけてみませんか。

展示会に関するお問い合わせは、ネットヨタ福井（株）ウエルキャブステーション・加藤（電話 38-2211）へ

<展示日程（予定）>

- 1月19日（土）～20日（日）10:00～18:00
福井県産業会館（下六条町）本館1階ホールにて
（ウエルキャブコーナーに併設）
- 1月24日（木）～2月3日（日）9:00～19:00
ネットヨタ福井・中央店（開発町）

「きらりアート展」とは

若狭町で毎年秋に、福祉と文化の祭典「ハート&アートフェスタ」の主要なイベントのひとつとして、きらりアート展実行委員会（若狭町社会福祉協議会）主催で開催されています。福井県内の障がい者および特別支援を必要とする児童・生徒たちの社会参加やアート活動の推進を目的とした公募アート作品展です。

9回目となる今年は、絵画・造形・書など合わせて191点の作品が応募されました。



みんなの 突撃インタビュー！ げんきの家 編

「ボランティア活動は“げんき”が一番！」

今回は、げんきの家の高山さんに、施設でのボランティア活動の様子を聞いてみました！



▲げんきの家の職員の皆さん
（左から 中林さん、高山さん、岩崎さん）

Q げんきの家はどんな施設ですか？

A 就学以降の障がい児者を対象に、重い障がいがあっても、地域の中で必要な支援を受けながら自立や社会参加を進め、本人の願いが実現できるように支援していく福祉施設です。自分の暮らしを自分で選択し、障がいがあっても当たり前のように働ける、自由な暮らしを応援しています。

Q ボランティアさんへメッセージを！

A ボランティア活動は、“げんき”が一番です。明るく一緒に活動していただくことで、仲間たちも元気になります。一緒に楽しみながら活動していただける方、お気軽にお越しください。

Q どんなボランティア活動がありますか？

A 会話を楽しみながら、箱詰め作業やチラシ折りなどの軽作業、地域に向けて開いているコーヒーショップのお手伝いを、げんきの家を利用している仲間と一緒にいただいています。

また、障がいのある子どもたちへの絵本の読み聞かせや歌、ピアノなど特技の披露、外出の際の見守りなどの活動もあります。

社会福祉法人 げんきの家（高木中央2丁目602）
TEL 52-8991（担当 高山さん、中林さん、岩崎さん） FAX 52-8998
※木・日曜日、祝日以外の8:30～17:30
メール genki@kore.mitene.or.jp ホームページ <https://www.fukui-genkinoie.jp/>